



ひょうごんテックの活動
～これまでと今後～

平成20年12月23日(火・祝)
ひょうごんテック世話人

神谷 陽子

ひょうごんテックとは・・・？

NPO活動・市民活動の現場では、

パソコンだけでなく、今ではICT(情報通信技術)が、なくてはならないものになっています。

ひょうごんテックは、

NPOのIT支援を行うボランティア団体です。

ICTに伴う様々な問題を解決し、NPOがICTをより効果的に活用できるよう、IT支援の団体や人のネットワークづくりを目指しています。

ひょうごんテックの歩み

主な流れ

平成15年(2003年) 6月14日 HOGON技術支援WG設立ミーティング
 平成16年(2004年) 6月 5日 ひょうごんテック設立総会
 平成16年(2004年) 4月～3年間 財団法人 木口ひょうご地域振興財団より助成を受ける

年度	NP0のIT課題	実施事業	備考
平成16年 6月(04年)～ 平成18年 3月(06年)	機器の不足	リユースPCプロジェクト	
平成16年12月(04年)～ 平成17年 3月(05年)	自然災害による被害 (台風による水害)	ひょうごりリーフPCプロジェクト	
平成16年 6月(04年)～ 平成20年 5月(08年)	IT専門技術者等 ソフト面のリソース不足	PCトラブルサポート事業	
		PCコンサルティング事業	
		各種IT講習事業	
平成19年 1月(07年)～ 平成19年 3月(07年)	<課題の再認識>	NP0のパソコン・インターネット 活用状況調査	
平成19年 9月(07年)～ 平成20年 3月(08年)	IT関連経費の拡大	オープンソース・ソフトウェア 活用の実証実験	
平成20年 6月(08年)～	<NP0のITを支援するボランティア団体「ひょうごんテック」として再出発>		

ひょうごんテックの行なった事業

リユースパソコンの提供(2年間5期にわたって実施)

専用のパソコンを持つことができないところも多く、IT 機器の提供を希望する声が根強くあった。京阪神の団体や兵庫の台風による被災地の団体など、合計27団体に延べ32台を提供した。

メンテナンス(保守・導入)事業(4年間継続的に行った)

直接支援による問題の解決は、一時的な解決でしかないため、団体スタッフのIT力を引き上げることを試みた。事業全体として、延べ約400件の対応を行った。

人材育成

「アドバイザー派遣事業」(3団体、延べ20回訪問)や、在住外国人サポートを行うNPO と共同しておこなった「在住外国人のIT 講習事業」(受益者72 名)など。

ひょうごんテックの将来にむけて

「NPO のパソコン・インターネット活用状況調査」により最新のニーズを把握し、その課題解決に向けて、「NPO の団体運営におけるオープンソース・ソフトウェア活用の実証実験」を実施。

パソコン需要の変化とPCトラブルサポート事業の変化 ～対処療法から予防へ～

■PCの導入期は...

新品&高性能のPCは高価であるため、古いPCや低性能のPCをやむなく使用している。

→基本的なトラブルが多く、専従スタッフにより、すぐに対応してくれる安価なサポートが必要。木口ひょうご地域振興財団からの助成金によりサポート料のベース部分を支え、更にITボランティア等の協力により、安価なPCトラブルサポートを実現した。

■PCの普及期に入り...

年々PCの価格は安くなり、性能も大幅にUp。徐々に基本的なPCトラブルは減少する。しかし、ネットワーク等原因が複雑で多岐に渡るトラブルが出てくる。

→複雑なトラブルには、専門知識と経験を持つ技術スタッフの対応が必要であり、ITボランティアの協力にも限界が出てくる。

助成金に頼らず事業を継続するには、サポート料金のUpが必要になる。

■結果...

ひょうごんテックが行う、有償のPCトラブルサポート事業を廃止。

直接的なサポートから、トラブルを予防するためのノウハウ提供へ。

→PCトラブルは、ひょうごんテックのメーリングリスト(ML)で対応する。

対応しきれないトラブルについては、専門の民間業者を紹介することで対応する。

NPOのIT活用状況アンケート

スタッフ1人1台のPC環境が整いつつある

主に困っていることは...

- ・事業上重要なデータの管理（顧客情報 等）
- ・情報発信
- ・ITに関わる経費の拡大

NPO活動をITで支援するために ひょうごんテックが行うこと

オープンソースソフトウェア活用の推進

(期待される効果)

IT投資金額の抑制 - 透明性の確保 - セキュリティ対策

有用なIT情報の収集・分析・発信

(期待される効果)

セキュリティ対策 - ノウハウの蓄積

IT技術ネットワークづくり・交流の場の提供

(期待される効果)

IT専門技術者の確保・育成 - 情報の伝達

オープンソースソフトウェアの活用

<メリット>

フリーなライセンスで提供される良質なソフトウェア
ソースが公開されているので安心
改良されていくスピードが早い

<デメリット>

マニュアル等、操作方法を習得するための情報が
少ない

オープンソースソフトウェアのデメリット対策

オープンソースコミュニティとの関係を強化

- 少ない情報を補完するため、オープンソースコミュニティ関係者にもMLに参加してもらい、困った時に質問できる環境を作る

情報の収集と蓄積

- 実際にオープンな環境を使ってみたり、勉強会に参加するなど、情報を収集し蓄積する
- 蓄積した情報については、ひょうごんテックのWebサイトや講習会等を通じて公開する

有用なIT情報の収集・分析・発信

IT技術ネットワークづくり・交流の場の提供

様々な媒体から最新のIT技術やサービスの情報を入手

- ・インターネット
- ・書籍・雑誌
- ・専門家 等

- ・最新の技術やサービスの情報を収集
- ・必要に応じ、情報の信頼性や、
NPO活動への親和性等を検証

様々な媒体による情報提供

- ・メーリングリスト
- ・ブログ
- ・Webサイト

勉強会や講習会等、各種ITイベントの企画・運営

ひょうごんテックのWebサイト

http://www.tcc117.org/hyogontech/



ひょうごんテックの連絡先

※ひょうごんテックへの連絡はメールでお願いします

〒653-0052

神戸市長田区海運町3-3-8 たかとりコミュニティセンター内

メールアドレス:

tech@tcc117.org

メーリングリストにも
是非ご参加下さい♪

参加のお申込みは、
メールで大募集中！

ひょうごんテックへの
ご連絡はメールで
お願い致します

